

- セット内の糸糸がなくなりましたら、お近くの手芸店などで「並太糸糸」と、お買い求めください。

TOMY

トミーでは、「子供たちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございますたら、下記へご連絡ください。

宛 先：株式会社トミー お客様相談室 ハローキティ あむあむたまご 担当
 〒124-71 東京都葛飾区立石7-9-10 TEL 03(3693)1031
 〒567 大阪府茨木市水尾1-1-13 TEL 0726(38)1811
 *電話受付時間 月～金曜日(祝日・祭日を除く)10～17時

営業所所在地

北海道営業所	〒060 札幌市中央区北三条53-1-44札幌富士ビル3F	☎011(231)7818
仙台営業所	〒980 仙台市青葉区大町1-1-10第2商業ビル9F	☎022(262)4925
名古屋営業所	〒461 名古屋市東区泉2-28-24ココタビル2F	☎052(931)0683
大阪営業所	〒567 茨木市水尾1-1-13	☎0726(38)1811
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前1-1-33はかた近代ビル2F	☎092(471)7661

Hello Kitty

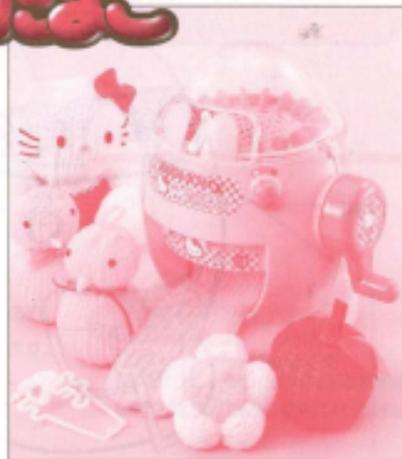
あむあむたまご



取り扱い説明書

保護者の方と一緒に
お読みください。

この度は、TOMY「ハローキティ あむあむたまご」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取り扱い説明書をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。



©1976, 1997 SANRIO CO., LTD. TOKYO JAPAN. ®

対象年齢5才以上

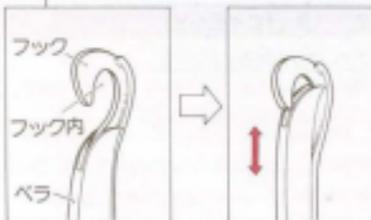
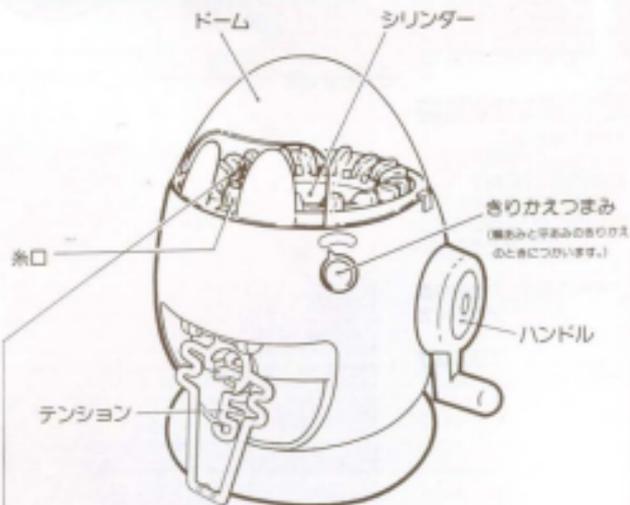
注意 (ちゅうい)

保護者の方へ、必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 糸糸を首にかけてふざけたり、乱暴に扱わないでください。窒息などの危険があります。
- 糸糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 糸糸針は、機軸上突っ立っていますので危険です。使用日の以外には絶対に遊ばないでください。
- 糸糸を巻いている途中、シリンダー内の針に指や髪、毛や衣服などをはさまれないように注意してください。
- ビニール袋を誤りか破つたり、顔や髪をつたりしないでください。窒息する恐れがあります。

TOMY

あむあむたまごの各部のなまえ



針(18本)

作動中、ベラは上下します。

あむあむたまごは2通りのあみかたができます。

輪あみ



平あみ



セット内容

- あむあむたまご(ドーム含む)……1
- 糸……………3
- 糸針……………1
- テンション……………1
- 取り扱い説明書……………1

ドームのはずし方

ドームを左(時計まわりと反対の方向)にまわしもちあげてはずします。(セットするときは逆です。)

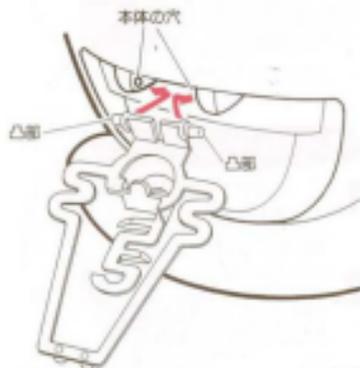


あむあむたまごでつかえる糸の種類

並太糸

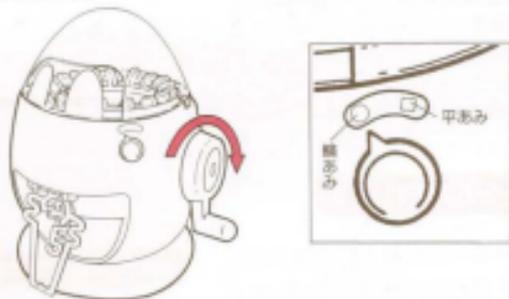
テンションのつけかた

図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。



あみはじめ前の練習

本体を平らなテーブルなどの上におき、きりかえつまみを「横あみ」(左)の位置にします。毛糸をセットする前にハンドルを時計のすすむ方向にまわし、なれたら毛糸をかけてみましょう。



毛糸をほぐしましょう

毛糸は必ず固のように、毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほぐしていきましょう。



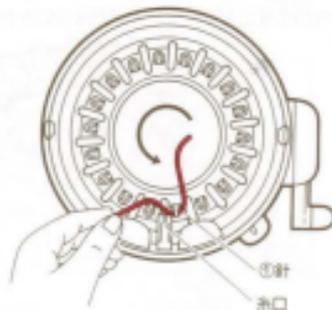
毛糸をセットしましょう

1. ドームをはずして、きりかえつまみを横あみに位置にしましょう。
2. 毛糸をもって毛糸の先を固のように、下につくくらいシリンダーの中へたらしめます。

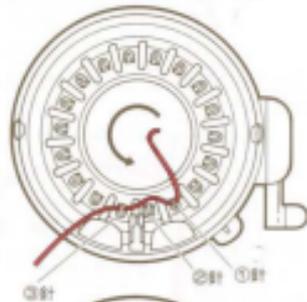


3. 針に毛糸をかけます。

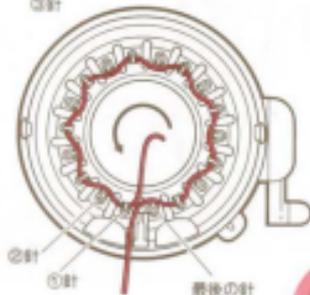
糸口の右がわにある針①のフック内に、毛糸を固のようにかけます。



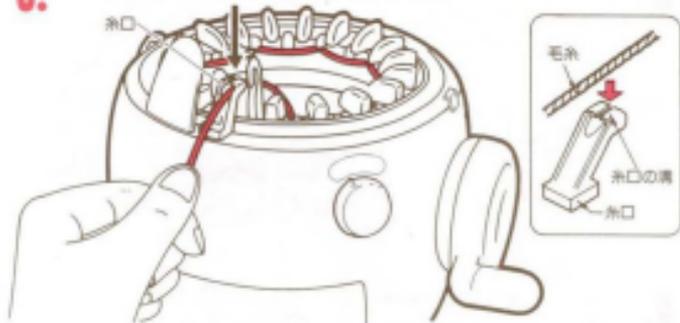
4. 毛糸は、1本おきに針にかけてゆきます。針①はフック内に毛糸をとおし、針②はうしろに毛糸をとおし、針③はまたフック内に毛糸をとおします。ハンドルは時計のすすむ方向にまわします。



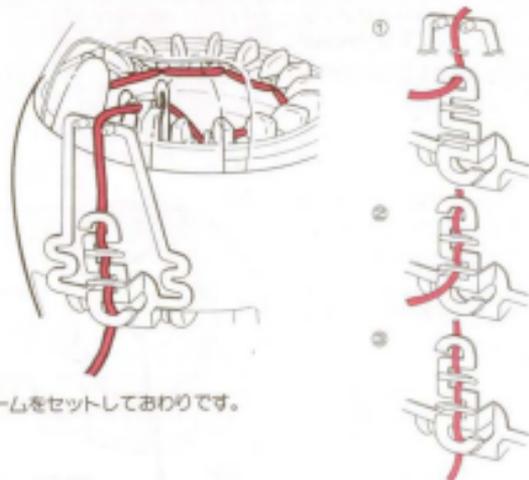
5. このように針の前、うしろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。正しく毛糸がかかっていれば毛糸は固のように最後の針のうしろをとっています。



6. 糸口の溝に上から毛糸を巻くようにとおします。



7. テンションを糸口のそばまでもちあげ、図のように毛糸をとおします。



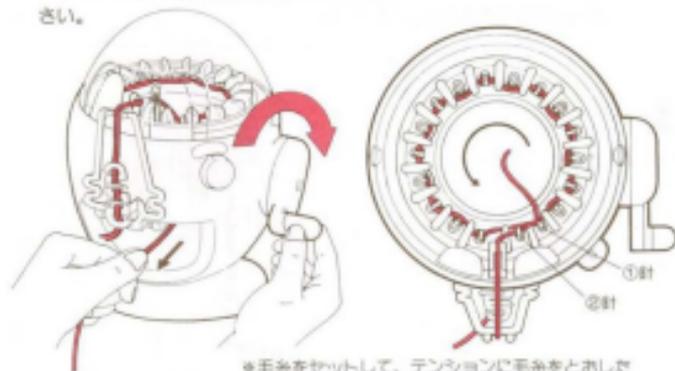
8. ドームをセットしておわりです。

輪あみのあみかた

図のような形に、
あみあがります。

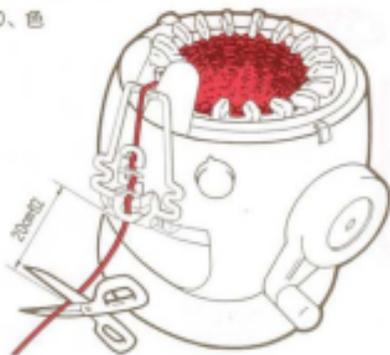


1. 前の手順で毛糸のセットがおわったら、
いよいよあみはじめましょう。ハンドルを
まわしてあんでゆきます。輪あみのときは
いつも、時計のさすむ方向にまわしてくだ
さい。



*毛糸をセットして、テンションに毛糸をとおした
あと、さいしょにたらしめた毛糸を巻くように、手
でにぎりかかると引っぱりながらあみ針①、針②を
あみ、あみあつたら手をはなし、あとはハン
ドルをまわしてあんでゆきましょう。

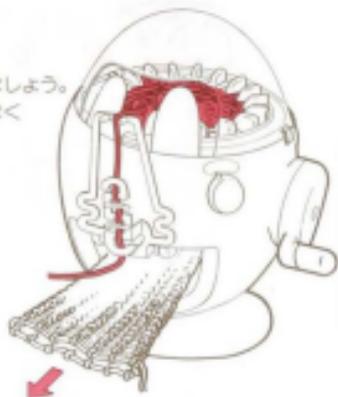
2. 毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは……



図のように毛糸をきり、新しい毛糸をむすびつけます。ハンドルをまわしてそのままあみつけます。

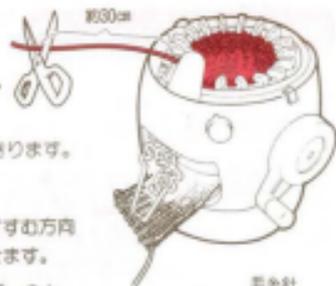
3. あみ地が長くなってきたら図のように手前に出します。

あみ地のねじれはときどきなおしましょう。ねじれたままだと、目がとんでうまくあめないことがあります。

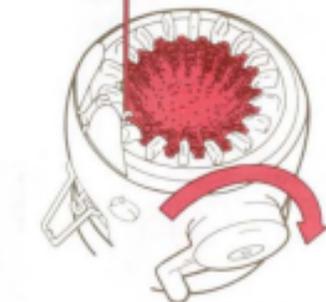


あみ地のはずしかた

1. ドームをはずします。
2. テンション・糸口から毛糸をはずします。
あみ地から約30cmのこし、毛糸をきります。
3. 毛糸をもって、ハンドルを時計のずりむ方向へまわし、シリンダーを一回転させます。
あみおわりの毛糸をシリンダーの上でもち、針のフック内にかけたまま、ハンドルを時計のずりむ方向にゆっくりまわし、針からあみ地をはずします。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあったら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。



4. あみあがった作品は、本体の下の取り出し口からそっと取りだします。
あみ目がほどけないように、注意しましょう。



あみおわり・あみはじめのしまつのしかた

あみおわりをしまつしましょう

☆注意 あみおわりの毛糸を強くひきすぎると、あみ目がほどけますので気をつけましょうね。

① あみおわりの毛糸を毛糸針にとおします。



② 編になっている、すべてのあみ目に、毛糸針をとおします。



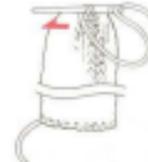
③ 最後のあみ目にも、わざわざしないでとおしましょう。



④ あみおわりの毛糸をひいて、編がゆるむまでしばらくします。



⑤ 図のようにあみ地に毛糸針をとおします。



⑥ 毛糸の輪をつくり、針をとおしてむすびます。



⑦ 毛糸が短ったら、あみ地の中央少しぬいこみ、残った毛糸はきりましょう。

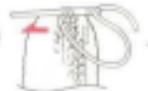


あみはじめをしまつしましょう

① あみはじめの毛糸をひいて、編がゆるむまでしばらくします。



② 毛糸針にあみはじめの毛糸をとおし、図のようにあみ地に毛糸針をとおします。



③ 毛糸の輪をつくり、針をとおしてむすびます。



④ 毛糸が短ったら、あみ地の中央少しぬいこみ、こった毛糸はきりましょう。



平あみのあみかた

図のような形に、あみあがりませう。



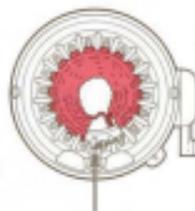
1. ドームをはずして、きりかえつまみを平あみ(右)の位置にしましょう。

2. ハンドルを手前(時計と逆まわりの方向)に止まるまでまわします。無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がしますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

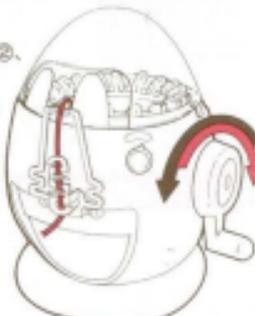
3. あみ前にあき箱などにほくしておいた毛糸を、「毛糸をセットしましょう」の②～④の手順をみて毛糸をセットしましょう。(こんどは時計のすすむ方向へハンドルをゆっくりまわします。

4. 編あみのあみかた1.の②の印のように、針①、針②、があみまではさいしょにたらしめた毛糸を手でにぎりかき引っぱりながらあんでゆき、ハンドルが動かなくなったら、こんどはハンドルを手前(時計と逆まわりの方向)にまわし、止まったらまた時計のすすむ方向にまわします、この操作をくりかえします。

☆注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。



☆あみあわたまごは平あみの場合18本の針のうち16本だけつけてあみませう。



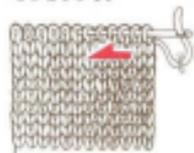
5. きりかえつまみを編あみ(左)の位置にかえて、あみ地をとりはずします。「あみ地のはずしかた」とおなじ方法ではずしてね。

あみはじめ・あみおわりのしまつのしかた

あみおわりをしまつしましょう

☆注意 あみおわりの毛糸を強くひきすぎるとあみ目がほどけますので気を付けましょうね。

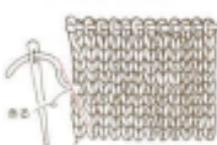
①あみおわりの毛糸を毛糸針にとおし、輪になっているすべてのあみ目に、毛糸針をとおします。



②図のように毛糸の輪をつくり、針をとおしておさびます。



③毛糸が抜いたら、あみ地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸はきりましょう。

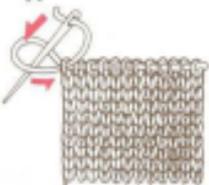


あみはじめをしまつしましょう

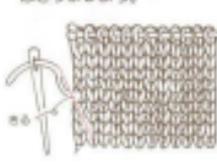
①あみはじめの毛糸を毛糸針にとおします。



②図のように毛糸の輪をつくり、針をとおしておさびます。



③毛糸が抜いたら、あみ地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸はきりましょう。



輪あみのもう一つのあみはじめとあみおわりのしまつのしかた あみ地をとりあわせる方法

しほらずに筒状にあみ地をしあげます

あみおわり

①あみおわりの毛糸を毛糸針にとおします。



②輪になっているすべてのあみ目に、毛糸針をとおします。



③あみ目にとおし終わった毛糸は、筒の輪がつかないように同じ長さの箇所し、図のように毛糸をさします。



④毛糸の輪をつくり、針をとおしておさびます。



あみはじめ

①あみはじめの毛糸を毛糸針にとおし、筒のようにならしてあみ目をさします。



②毛糸の輪をつくり、針をとおしておさびます。



あみ地のとしかた

①毛糸針に毛糸をとおし、②毛糸をつれないように筒のようにならしてひらいておきます。



シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音が出ます。

●きりかえつまみを平あみの位置にし、ハンドルをまわし止まってもまわらなかつたとき。

●毛糸におさび目があり、テンションにとおさび引っかけたままのハンドルをまわらなかつたとき。

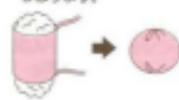
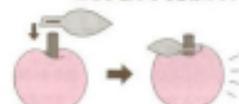
●毛糸がテンションや針の中にかままってしまいシリンダーがまわらないとき。

●並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつなくてもハンドルをまわらなかつたとき。

●毛糸玉をあむ前にほぐさないで、そのままあんでしまいハンドルをまわらなかつたとき。

りんごのつくりかた

用意するもの……フェルト(茶色・緑)

①横あみで8cmくらいあみ
ます。(赤色)②茶色のフェルトを四角く切
って、だてに半分に折って、
ぬいつけます。③中にパンヤをつめて、あみ
おわりをしまつして両端を
しぼります。④緑のフェルトを葉っぱの形
にきって、きりこみを入れ
ます。これを1枚から2枚
つくります。⑤上をギュッと押しこんでぬ
いつけます。⑥④でつくった茶色のフェ
ルトをりんごの上にあみつけ
て、⑤の葉っぱのきりこみ
にさしこんでできあがり。

あみぐるみのつくりかた

用意するもの……フェルト
～まずは体をつくりましょう。～①平あみで25cmくら
いあんで、あみお
わりをしまつしま
す。これを2枚つ
くります。～手足をつくりましょう。～
(手)①横あみで前5
cmくらいあみ
ます。②中にパンヤを
つめて、あみ
おわりをしま
つして、両端
をしぼります。③これを2つづ
くります。

(足)

①横あみで前7
cmくらいあみ
ます。②中にパンヤを
つめて、あみ
おわりをしま
つして、両端
をしぼります。③これを2つづ
くります。

～しあげましょう。～

①手、足を腿のように体に
ぬいつけます。②フェルトで目、ハナ、耳をつかって、ボンドなどでくっつけます。
耳は高いつけましょう。

～あみぐるみの形用編～

(体に洋服をつけたいとき)

平あみで体をつくるとき、腿のように2色でつくります。

あとは、同じつくりかたでつくりましょう。



できあがり。

●体は同じでも、顔をかえることで、いろいろなあみぐるみをつくることもできます。

(キティちゃん)

体は洋服をつ
けてあげね。

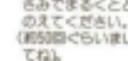
(うさぎ)

ボンドで
はりつけます。①耳は三角にぬ
いつけます。
②ヒップフェルトで
つくりますよ。

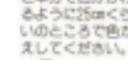
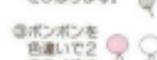
(いぬ)

この形にフェルト
をつけてぬいつけ
ます。

ポンポンのつくりかた

①厚い紙に毛糸をく
るくるまきつけま
す。②あみぐるみのほしに
腿のようにむすび
つけてください。③紙から毛糸をぬき
とり、腿のように
まん中の部分を毛
糸で強くむすんで、
はさみで輪の周は
じをきります。は
さみでまくるとの
ええてください。
(約50回くらいま
いてね)

えりまきのつくりかた

①横あみで50cmほ
どあみます。ちょ
うど半分まで色か
わるように25cmく
らいのところまで色
えしてください。②あみおわりをし
まつして、両端
をしぼります。③ポンポンを
色違いで2
つつくりま
す。④マフラーの両端に
ぬいつけます。